

# 大津・草津地域マネジメントスクール2012

## 講師紹介

### 小林 徹(こばやしとおる)氏

オブテックス株式会社 取締役会長兼代表取締役社長

**略歴**

1971年 同志社大学工学部卒業  
 1979年 オブテックス(株)設立 代表取締役社長  
 1991年 (社)日本証券業協会に株式を店頭登録  
 2001年 (株)東京証券取引所市場第二部に上場  
 2003年 (株)東京証券取引所市場第一部に上場  
 2004年 国家褒章藍綬褒章受賞  
 2012年 取締役会長兼代表取締役社長

講演テーマ	グローバル時代の経営
講演内容	33年前に創業したオブテックスの事業紹介とともに、これまでの経験から形成された価値観、企業観、創業に至った経緯などを紹介。また、欧州を発端とする経済危機や日中関係の悪化など変化の激しい国際経済の中、経営者として感じている経営のおもしろみや苦勞している点を率直にお話しします。
その他講師情報	(公職活動) 他団体役員等: 滋賀県公安委員会委員長、(社)関西ニュービジネス協議会 副会長、(社)滋賀経済産業協会 理事、(更生保護法人)滋賀県更生保護事業協会 副理事、(社)発明協会滋賀支部 理事、株式会社エフエム滋賀 取締役

### 大久保 元博(おおくぼもとひろ)氏

大久保精工株式会社 専務取締役

業務内容:工作機械用スピンドルユニット(回転軸)の設計・製造・販売  
 住所:滋賀県 草津市 野路町 (JR南草津駅から琵琶湖側へ徒歩5分)

**略歴**

1967年 生まれ  
 1985年 滋賀県立膳所高校 卒業  
 1990年 神戸大学・工学部・機械工学科 卒業  
 1990年 伊藤忠商事株式会社 入社 産業機械部門に配属 産業機械の営業販売・貿易実務・戦略立案等を担当  
 産学連携による新規事業創造を図る組織へも参画  
 2006年 伊藤忠商事株式会社 円満退職  
 2006年 大久保精工株式会社 入社  
 2009年 専務取締役に就任  
 2010年 「草津市産学連携スタートアップ事業」を活用  
 2012年 新規開発製品が近畿経済産業局から「関西ものづくり新撰」に選定される

講演テーマ	「産学官連携」による新たな価値創造戦略 ～すぐ手の届く身近なリソースを活用した我が社の事業展開～
講演内容	中小企業が激動の現代を生きのびるには、新しい製品やサービスを開発することが不可欠です。その為の有効な手法として「産学官連携」があります。公的な施策を活用することで経済的に、学術的な知見を導入することで革新的に、開発が推進出来ます。当社が活用した草津市の施策「草津市産学連携スタートアップ事業」による開発の経緯を具体例に、「産学官連携」がすぐ手の届く身近なリソースであることをご紹介します。
その他講師情報	学会発表: 2010年 日本機械学会「内面研削スピンドルの軸形状設計に関する研究」共同研究者として発表 2010年 砥粒加工学会「長尺内面研削スピンドルの開発に関する研究」共同研究者として発表 2011年 同 第2報 2012年 同 第3報 大久保精工のホームページ: <a href="http://www.eonet.ne.jp/~ohkuboseiko">http://www.eonet.ne.jp/~ohkuboseiko</a>

## 板東 浩二(ばんどう こうじ)氏

株式会社NTTぷらら 代表取締役社長

### 略歴

徳島県出身。1977年、日本電信電話公社(現NTT)へ入社。  
1991年2月・九州支社ISDN推進室長、1993年3月・長距離事業本部通信網システム部担当部長、1996年3月・マルチメディアビジネス開発部担当部長を経て、1998年7月にNTTぷらら代表取締役社長に就任、現在に至る。  
2010年7月より、アイキャスト代表取締役社長を兼任。

講演テーマ	経営者のリーダーシップ ～会社の立ち上げと、ひかりTVのビジネス戦略～
講演内容	会社の立ち上げ時に学んだこと、並びにひかりTVのサービス開始から今後のビジネス展開まで、NTTぷららの事業戦略と事業マネジメントを解説する。
その他講師情報	

## 清岡 久幸(きよおか くみ)氏

株式会社タケックス・ラボ 代表取締役社長

### 略歴

1981年 3月 病気療養のため香川県高松市立第一高等学校を中途退学  
1981年 4月 家業である創作竹工芸品を製造販売する「蜂の巣巧房」に入社。竹の有効成分に関する研究に従事  
1996年 8月 大阪市立大学医学部細菌学教室の協力により、竹抽出物がO-157を含む14種類の細菌に対して抗菌効果があることが確認され、テレビ・新聞各紙で報道される  
2002年 2月 ㈱フードテックス(現㈱タケックス・ラボ)設立、代表取締役に就任  
2006年 9月 日本農芸化学会関西支部大会において、大阪府立公衆衛生研究所との共同研究による「竹抽出物のウイルス不活化効果の実証」を発表  
2009年 5月 第15回日本食品化学学会において大阪府立大学大学院獣医微生物学との共同研究による「竹抽出物のネコカリシウイルス(ノロウイルス代替ウイルス)への効果と作用機序」を発表  
2009年 5月 鳥取大学農学部付属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターとの共同研究により、竹抽出物が「鳥インフルエンザウイルス」に対し、感染価低下率が99.99999%あり、その効果が30日間持続する」ことを発表(新聞各紙で報道される)

講演テーマ	夢と挑戦
講演内容	学生時代に病気療養のため長期間入院生活を送った経験から、竹の有効成分を利用した「安心・安全」な食品添加物の開発に取り組み、起業に至った経緯と、その中で培った竹に関する豊富な知識とノウハウを生かして、地域竹資源の有効利活用へと事業を拡大している現状について
その他講師情報	

## 山口 一彦(やまぐち かずひこ)氏

ベルグアース株式会社 代表取締役社長

### 略歴

1957年2月5日、愛媛県宇和島市に生まれる。56歳。兼業農家(豆腐の製造販売)の長男として生まれ、幼い頃よりその両方を手伝っていた。1975年、愛媛大学農学部附属農業高等学校を卒業し、兵庫県の先進地農家(大規模切花栽培)へ9ヶ月間住み込みで研修。1976年に帰郷し、制度資金を利用して花卉栽培に取り組む。一方で市場価格に左右されない価格の安定した野菜の苗生産にも着手し、1986年、野菜生産農家用の苗を近隣のJAとの契約栽培を開始。1991年、大手種苗会社との契約栽培とともに、西日本一円から全国へ販売展開を開始。その後も人的投資、設備投資で事業規模を拡大させ、1996年、従業員数約100名で個人事業から農業生産法人(有)山口園芸を設立。2001年、研究開発、企画・販売を担うための農業法人ベルグアース㈱を設立。2005年、VCより株式上場を見据えた資本を受け入れる。2006年、株式上場基準を満たすため、㈱山口園芸の代表取締役を退任。2011年11月大阪証券取引所JASDAQに株式上場。

講演テーマ	農業に革命を！～田舎からの挑戦～
講演内容	農家から農業の企業を目指して、IPOを実現するまでとこれからの20年
その他講師情報	(主な著書)百姓でも会社経営はできるんや！！ (公職活動)四国経済連合会常任理事、日本野菜育苗協会理事、他 (その他)「心」「絆」「人」をこれからも大切にしたい

## 児玉 充晴(こだま みつはる)氏

中部大学 経営情報学部 教授 VMSセンター 副センター長  
 京都大学 産官学連携センター フェロー  
 株式会社アロートラストシステムズ 社外取締役  
 NPO法人 子供ネット八千代 監事

### 略歴

1978年京都大学工学部電子工学科修士課程卒、電電公社入社 技術局伝送部門、1985年東海通信局施設部調査課長、電子情報通信学会東海支部庶務幹事、1988年企業通信システム事業本部総括部企画担当課長、1991年ハーバード大学ビジネススクール修了(PMD)、1993年NTTリース(株)先端技術推進部長、1996年本社法人営業本部第1営業部システム部金融SE統括部長、2004年チャンネル営業本部セールスエンジニアリング部長、2006年名古屋工業大学大学院工学研究科博士後期課程情報工学専攻修了(工学博士号取得)、NTTコミュニケーションズ定年退職 中部大学の教授に就任、2007年国立大学法人東京農工大学技術経営研究科(MOT)教授、2008年京都大学産官学連携センター特任教授(産官学連携)、2009年中部大学経営情報学部教授に復帰、2010年、中部大学VMSの副センター長に就任。

講演テーマ	営業改革と業績向上の即効薬 ～中小企業のWeb活用事例をもとに解説～
講演内容	いくら良い商材を持っていても、お客に伝わらないと、あなたの会社は世の中にないのと同じです。自社の強みを過去の受注事例から分析して、「自社の売り」を明確化してお客に伝える技術の高度化法を講義します。2代目の若手が事業承継するに当たり必要となる、工業化時代の先代を超える、情報化時代の思考法をあわせてご紹介します。この事例として、講師の社会人大学院の37歳の教え子で、過去最高益をあげ続けている、社員数15名の小さな板金業者を事例として解説します。
その他講師情報	(主な著書) 「利益を生み出すビジネス手法と事例108」 出版社:日経BP企画 著者:児玉 充晴 ISBN 4-86130-095-9 C2034 (専門領域) 電電公社からNTTコミュニケーションズに変革してゆく過程での企業経験および、300社以上の中小企業・ベンチャーに対してコンサルを実施した経験から、上手なビジネス方法を研究している。 専門は、企業が利益向上体質に変革するための“リーダーシップ不要の事業承継法”、“営業心理学”、“技術の換金学”、“経営管理手法”、“情報化時代の組織学”、“社員のモチベーション向上方法”、“STAR手法による人材採用方法”などで、利益向上に努力する企業への研修や企業の顧問等を多数こなしている。 (公職活動) 年90回以上の商工会議所主催や金融機関主催のセミナーで、業績向上法、事業承継法、Webによる営業の自動化法などのMBAの出張講義を行っている。

## 武田 一平(たけだ いっぺい)氏

ニチコン株式会社 代表取締役会長

### 略歴

1941年 神奈川県 生まれ  
 1963年 3月 早稲田大学商学部 卒業  
 1963年 3月 日本コンデンサ工業株式会社(現 ニチコン株式会社) 入社  
 1967年 5月 米国シカゴ 赴任  
 1978年 2月 ニチコン(アメリカ)コーポレーション 代表取締役(現任)  
 1983年 6月 ニチコン株式会社 取締役 就任  
 1983年 12月 ニチコン株式会社 取締役 国際部長  
 1995年 7月 ニチコン株式会社 取締役 大野工場長 兼 海外営業担当  
 1997年 6月 ニチコン株式会社 常務取締役 営業本部長 兼 大野工場長  
 1998年 6月 ニチコン株式会社 代表取締役社長  
 2007年 6月 ニチコン株式会社 代表取締役会長 兼 CEO

講演テーマ	米国東奔西走17年
講演内容	米国市場開拓を含むこれまでの体験談と経営フィロソフィー
その他講師情報	(主な公職) 京都経営者協会 会長、京都発明協会 会長、京都経済同友会 副代表幹事、京都工業会 副会長、京都商工会議所 常議員、日本電機工業会 理事、電子情報技術産業協会 理事 (備考) ・2007年4月 藍綬褒章 受章・海外駐在期間17年間(米国)